

あなたの準備できていますか？
「さいごまで自分らしく生きる」を支えるために

物語と対話による医療

～患者さんと良好な関係を築くスキル～

患者さん自身が語る『ものがたり』。これを大切にした医療が「ナラティブ・ベイスド・メディシン」と呼ばれています。

私たち専門職は、日頃からその人の声を聴く大切さを知っています。しかし、それをケアに活かすには、壁を感じることもあります。言葉にならない部分も含めて、その人のメッセージを感じ、受け止めたことをケアとして実践するには、実際どうすればよいのでしょうか。

今回は立命館大学総合心理学部教授の齋藤 清二先生にお話頂きます。医療や介護の現場で、その人の『ものがたり』を引き出し、ケアの中でつないでいくきっかけをつかんでみませんか。



講師: 齋藤 清二 先生
立命館大学総合心理学部 教授
医学博士・臨床心理士



1975年新潟大学医学部卒業。1988年医学博士。1993年英国セントメリー病院医科大学へ留学。1996年富山医科薬科大学第3内科助教授、2002年富山大学保健管理センター長・教授。2015年富山大学名誉教授、立命館大学応用人間科学研究科 特別招聘教授。2016年より立命館大学総合心理学部特別招聘教授。

(主な著書)

『改訂版医療におけるナラティブとエビデンス』(遠見書房2016)、『ナースのためのナラエビ医療学入門』(日本看護協会出版会 2014)、『ナラエビ医療学講座』(北大路書房 2011) 他多数。

日時 平成29年 7月 30日(日)
14時～16時(受付開始13時30分～)

会場 宇治市産業会館(宇治商工会議所)
3階大会議室

対象 医療・介護・福祉にかかわる多職種

* 参加費無料・申込不要です。多数のご参加お待ちしております。

主催: 宇治久世医師会(看取り委員会)

後援: 宇治市・城陽市・久御山町・京都府

お問い合わせ先: 宇治久世医師会事務局 ☎ 0774-24-1711

